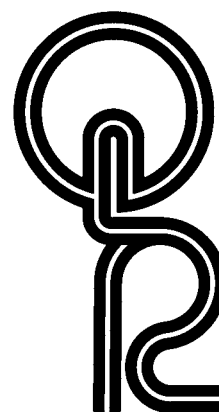


QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 24 No.3, 2017



那須塩原市の塩原湖成層（宮島層）の露頭。年縞と推定される葉理が連続的に観察される。調査者：小島隆宏・本多将人、撮影者：岡田 誠

Vol. 24 No. 3

June 1, 2017

2017年大会案内（第5報）..... 2	臨時評議員会議事録..... 9
国際集会の開催案内（PATA DAYS 2017）..... 7	幹事会議事録..... 9
国際集会の開催案内（GEODUST）.. 8	学生会員継続届提出のお願い..... 10
組織改革委員会議事録..... 8	会員消息..... 10
	学会賞・学術賞講演会の案内..... 11

◆日本第四紀学会 2017年大会案内 (第5報)

本大会は、シンポジウム「第四紀研究から防災・減災への多角的なアプローチ」を中心に開催いたします。一般研究発表（口頭およびポスター）でも、5つのセッションを設けて会員各位の積極的な発表をお待ちしています。5つのセッションでは、それぞれ関連する学協会の共催（次報参照）を得て、幅広い研究が展開されることも期待しています。

1. 大会テーマ 「第四紀研究の多角的なアプローチ」

2. 開催場所 福岡大学 中央図書館多目的ホールおよび 18号館 2階講義室

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map>

- ・福岡大学七隈キャンパスへのアクセス（5ページの地図もご覧ください）
天神南駅から七隈駅または福大前駅まで約16分（福岡市営地下鉄七隈線）
（地下鉄天神駅と天神南駅は天神地下街を経由して徒歩8分で乗り換え可）

3. 開催日程 2017年8月26日～8月30日

8月26日（土）一般研究発表（口頭およびポスター）

8月27日（日）シンポジウム、総会・各賞授賞式、懇親会

8月28日（月）一般研究発表（口頭およびポスター）

8月29日（火）～30日（水）巡検

巡検1「古代伊都国の史跡と第四紀地質」（29日 日帰り）

巡検2「熊本地震関連で巡る熊本～阿蘇」（29～30日 1泊2日）

4. 締め切り日：

- ・一般研究発表申し込みと講演要旨原稿 6月30日（金）17時
- ・巡検参加申し込み（先着順） 8月1日（火）17時（定員で〆切）
- ・懇親会予約 8月11日（金）17時

5. 一般研究発表

今大会の一般研究発表（口頭およびポスター）は、5つのセッションに分けて開催します。各セッションのキーワードをご参照のうえ、第1希望から第3希望まで選んでください。なお、各セッションの共催学協会については、次報でお知らせします。

・セッション1「大気と海洋」

コンピーナー：村山雅史（高知大）、七山 太（産総研）、加 三千宣（愛媛大）、浅海竜司（琉球大）

キーワード：a) 気候変動、大気・海洋循環、氷河・氷床、海洋酸素同位体比、地球軌道変化
b) 海水準変動、海底・海岸の地形と堆積物

・セッション2「陸上の諸プロセス」

コンピーナー：堀 和明（名古屋大）、松多信尚（岡山大）、宮縁育夫（熊本大）、荻谷愛彦（専修大）、井上 弦（神奈川県農業技術センター）、片岡香子（新潟大）

キーワード：a) 地形発達、古地震、構造運動、噴火史
b) 寒冷地域の地表プロセス、土壌、陸水（湖沼、河川、地下水）

・セッション3「層序と年代」

コンビナー：里口保文（琵琶湖博）、竹下欣宏（信州大）、山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム）、下岡順直（立正大）、箱崎真隆（歴博）

キーワード：a) 編年、層序、対比、広域テフラ、年代指標
b) 年代測定（測定方法とその適用事例を含む）、年代決定

・セッション4「人類と生物圏」

コンビナー：小池裕子（九州大）、米田 穰（東京大）、工藤雄一郎（歴博）、杉山真二（古環境研）、藤木利之（岡山理大）

キーワード：a) 考古、古人類、食性分析、環境適応、人為生態系
b) 動物、植物、生物地理、古生態、植生変化

・セッション5「現代社会」

コンビナー：井村隆介（鹿児島大）、香川 淳（千葉県地質環境研）、品川俊介（土木研）、西山賢一（徳島大）、小森次郎（帝京平成大）

キーワード：a) 環境問題、災害、応用地質、工学、地盤、自然改変
b) 地学・地理教育、自然・文化遺産保護、ジオパーク

6. シンポジウム「第四紀研究から防災・減災への多角的なアプローチ」

8月27日（日）9時15分～16時（プログラムは第4報（第四紀通信、24巻2号）参照）

共催：京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設、東北大学災害科学国際研究所、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門

7. 巡検

【巡検1】「古代伊都国の史跡と第四紀地質」 後援：伊都国歴史博物館

【日 程】 8月29日（火）日帰り

【案内者】 磯 望（西南学院大学人間科学部）、岡部裕俊（伊都国歴史博物館）、下山正一（佐賀大学低平地沿岸海域研究センター）、小池裕子*（九州大学総合研究博物館）（* 責任者）

【スケジュール】 8月29日8時半 九大学園都市駅集合 — 17時 同駅解散

詳細は、第4報（第四紀通信、24巻2号）を参照ください。

【定 員】 30名（6月5日（月）からの申込先着順。最少催行人数：20名）

【申し込み方法】 参加ご希望の方はメールにお名前、ご所属、ご連絡先を記入の上、メール件名「伊都国巡検_参加申込」にて [jaqua.event\(at\)gmail.com](mailto:jaqua.event(at)gmail.com) へ8月1日（火）17時までにお申し込みください（atを@にかえる）。なお、7月15日（土）以降に空きがあれば非会員でも受付けます。

【参加費】 4000円（旅行傷害保険料、昼食および飲み物代を含む。）

【支払方法】 受付完了の通知後、2週間以内に銀行振込（手数料をご負担ください）。ただし、8月4日（金）までには完了すること。

【巡検2】「熊本地震関連で巡る熊本～阿蘇」 後援：阿蘇火山博物館

【日 程】 8月29日（火）～30日（水）

【案内者】 鳥井真之（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター）、遠田晋次（東北大学災害科学国際研究所）、奥野 充*（福岡大学理学部）（* 責任者）

【スケジュール】 8月29日9時半 JR肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）集合 — 阿蘇市内宿泊 — 30日17時 熊本空港解散 — 18時 JR熊本駅解散

詳細は、第4報（第四紀通信、24巻2号）を参照ください。

【定 員】 30名（6月5日（月）からの申込先着順。最小催行人数：20名）

【申し込み方法】 参加ご希望の方はメールにお名前、ご所属、ご連絡先を記入の上、メール件名「熊本・阿蘇巡検_参加申込」にて [jaqua.event\(at\)gmail.com](mailto:jaqua.event(at)gmail.com) へ8月1日（火）17時までにお申

し込みください (at を @ にかえる)。なお、7月15日(土)以降に空きがあれば非会員でも受付けます。

【参加費】 20,000円(旅行傷害保険料、宿泊費、昼食および飲み物代を含む。)ただし、個室利用の場合は6000円プラス。

【支払方法】 受付完了の通知後、2週間以内に銀行振込(手数料をご負担ください)。ただし、8月4日(金)までには完了すること。

8. 発表の申し込みと講演要旨原稿の送付方法

一般研究発表の希望者は、日本第四紀学会ホームページ (<http://quaternary.jp/index.html>) の大会・総会の2017年大会ウェブサイトの「発表申込書」と「講演要旨の原稿」に関するリンク部分からファイルをダウンロードし、必要事項を記入の上、以下の案内にそって申し込みを行ってください。各セッションのキーワードを参照のうえ、第1希望から第3希望まで記載してください。発表申し込みと、講演要旨原稿の提出をもって受付とします。**口頭発表の演者、ポスター発表の説明者になれるのは、それぞれ1件です。また口頭発表の演者、ポスター発表の説明者は本学会員であることが必要です。ただし、非会員でも、各セッションの共催学協会会員は、そのセッションに限り演者や説明者になれる。**

- ・発表申込書と原稿は添付ファイルとして専用のアドレス [jaqua.event \(at\) gmail.com](mailto:jaqua.event@gmail.com) に送付してください(at を @ にかえる)。6月5日(月)より受付を開始します。メール件名は「発表申込_筆頭発表者名」、添付するファイルの名前は「講演要旨_筆頭発表者名」としてください。2件申し込む場合は題名の後ろにA、Bをつけて両者を区別して送信してください。
- ・講演要旨の原稿はA4で1ページ(図表掲載可)です。2017年大会ウェブサイトの「講演要旨原稿の書き方及びテンプレート」にある書き方にそって作成してください。
- ・本学会員のうち2017年8月1日現在で39歳以下の方は若手発表賞に、学生・大学院生の方は学生発表賞にエントリーできます。エントリー希望の方は、申込書の該当箇所に記入してください。積極的なエントリーを期待しております。

9. 参加費・懇親会

- ・大会参加費：2000円(会員・非会員を問わず)。会場受付でお支払いください。
ただし、大学院生は1000円、70歳以上の会員、学部学生は無料です。
- ・講演要旨集：予定価格2000円(会場で直接販売。ただし、発表数等によって価格が若干変動する場合があります)
- ・懇親会に参加される方は、事前の申し込みをお願いします。
日時：8月27日(日)18:30～
会場：福岡大学文系センター棟16階スカイラウンジ
参加費：一般4000円(予約)、5000円(当日)、学生2000円(予約)、3000円(当日)
予約方法：8月11日(金)までにe-mail：[jaqua.event \(at\) gmail.com](mailto:jaqua.event@gmail.com) までご連絡ください(at を @ にかえる)。申し込み時のメール件名は「懇親会_氏名」としてください。

10. 大会実行委員会

実行委員会委員長：奥野 充(福岡大)

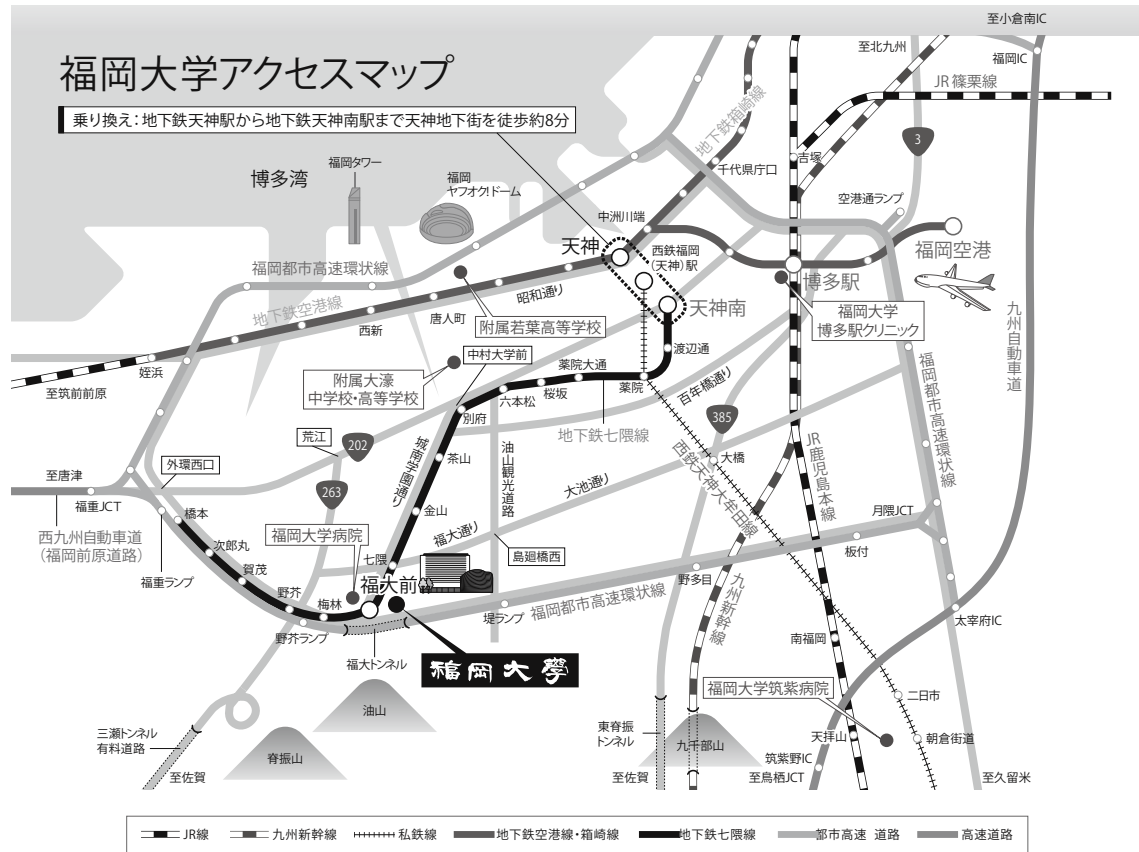
実行委員：石原与四郎(福岡大)・磯 望(西南学院大)・下山正一(佐賀大)・黒木貴一(福岡教育大)・小池裕子(九州大)・小森次郎(帝京平成大)・米田 穰(東京大)

連絡先：2017年大会実行委員会事務局

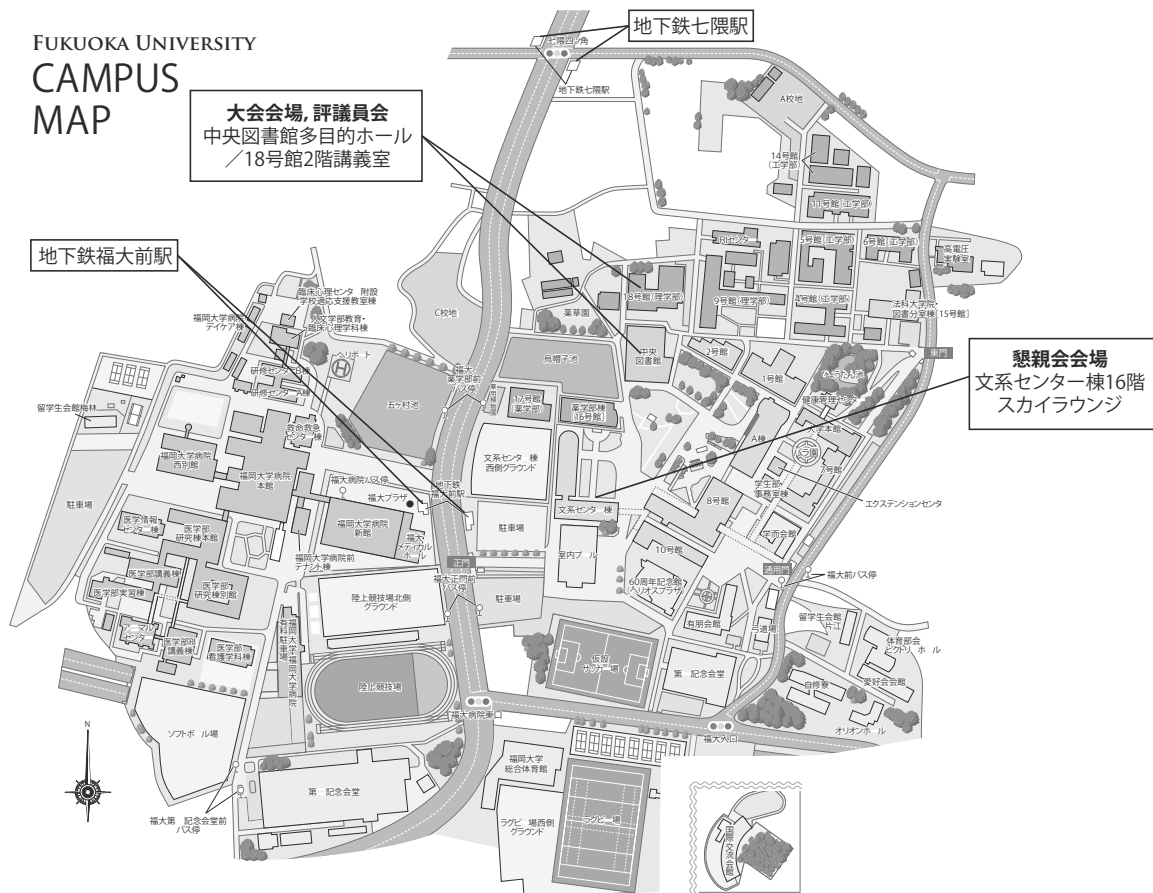
〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

福岡大学理学部地球圏科学科 火山・有機地質研究室 (TEL: 092-871-6631 内線 6289)

大会用メールアドレス：[jaqua.event\(at\)gmail.com](mailto:jaqua.event@gmail.com) (at を @ にかえる)



FUKUOKA UNIVERSITY CAMPUS MAP



日本第四紀学会 2017年大会 発表申込書

本申込書はメールの添付ファイルとして提出してください。メールのタイトルは「発表申込_筆頭発表者名」としてください。一般研究発表の筆頭発表者は日本第四紀学会会員である必要があります。

送付先メールアドレス: jaqua.event(at)gmail.com (at を @ にかえる)

◆氏名・所属: _____

◆発表タイトル: _____

◆筆頭発表者の連絡先 電話番号: _____
メールアドレス: _____

◆発表を希望されるセッション カッコ内にご希望の発表セッション番号をお書きください。
第1希望のセッション番号 ()
第2希望のセッション番号 ()
第3希望のセッション番号 ()

◆希望される発表形式 いずれかに○印をつけてください。
口頭発表 () ポスター発表 () 口頭/ポスターどちらでもよい ()

◆若手発表賞・学生発表賞へのエントリー

本学会員で39歳以下(2017年8月1日時点)の方は若手発表賞に、学生会員の方は学生発表賞にそれぞれエントリーすることができます。エントリー希望の方は次の該当する項目の括弧に○印をつけてください。

() 若手発表賞 () 学生発表賞

◆講演要旨執筆上の注意の確認

以下の「講演要旨執筆上の注意」を理解し、その内容を遵守するならば次の文章に氏名を記入して下さい。

私、() は「講演要旨執筆上の注意」を理解し、その内容を遵守します。

講演要旨執筆上の注意

2017年5月現在、講演要旨の著作権につきましては、厳密な規定がありません。そこで、現段階では基本的には発表者の方に著作権があるものと判断します。一方、昨今の知的財産権をめぐる情勢から見て、送付いただいた講演要旨に図の転載許可が得られていないものや、文献の引用が不十分なものがあると、問題が生じる可能性があります。従いまして、以下の点についてご注意の上で執筆下さるようお願いいたします。なお、これらに照らし合わせて問題があると判断された講演要旨原稿については、原稿受付後であっても再提出を求める場合があります。

- 1) 既存の出版公表物などに対する知的財産権へのいかなる侵害も含まないこと。
- 2) 他から転載されている全ての図表について、転載許可を得ていること。
- 3) 他の論文等の引用がある場合には、当該文献を全て明記する。引用形式としては、「竹内ほか(2005)第四紀研究, 44, 371-381。」などのように、引用箇所が判別できる限りにおいて簡略化して構わない。
- 4) 日本第四紀学会の名誉を傷つけ、第四紀研究の信用を毀損する盗用データ、捏造データ、その他、当学会の倫理憲章に反するものを含まないこと。
- 5) 講演要旨についての問い合わせ、苦情、紛争などが発生した場合、発表者はすべての責任を負うこと。

以上

◆古地震・活構造・地震考古学に関する国際集会（PATA DAYS 2017）の開催について

当初、2017年4月にニュージーランドで開催を予定していた標記国際集会は、2016年11月に発生したカイクウラ地震（M 7.8）の影響により延期となっていました。下記のとおり開催されることが決まりました。参加申込等は New Zealand GNS Science の HP 内のサイト (<https://www.gns.cri.nz/Home/News-and-Events/Events/PATA>) で2017年5月22日から受け付けられております。関連分野の研究者の積極的な参加をお待ちしております。

ご質問などがありましたら、吾妻 (t-azuma(at)aist.go.jp) までお問合せ下さい。

PATA DAYS 2017: 8th International Workshop on Paleoseismology, Active Tectonics and Archeoseismology, 13th - 16th November 2017.

The meeting will be held in Blenheim, at the top of the South Island, at the northern end of the Marlborough Fault System and 30 km above the southern Hikurangi subduction zone. The first full day of the meeting will be a field trip to view some of the northern fault ruptures of the 2016 Kaikoura earthquake. This will be followed by three days of talks and presentations at conference venues in Ward and Blenheim. Meeting attendees are advised to arrive in Blenheim by the 12th November, and to arrange accommodation in Blenheim for 5 nights (12th-17th November). There will also be an optional post-meeting field trip from Friday 17th - Sunday 19th November. The post-meeting field trip will start in Blenheim and finish in Christchurch.

The meeting is supported by INQUA and the main annual event of the IFG EGSHaz.

Key Dates

Registration & abstract submission:

22nd May 2017: Abstract submission and early registration opens

7th July 2017: Abstract submission and early registration closes, travel grant applications due.

15th August 2017: Extended abstracts due.

9th October 2017: Late registration closes.

PATA Days 2017: Monday 13th - Thursday 16th November: Blenheim, New Zealand

Monday 13th: Field trip to the northern fault ruptures of the 2016 Kaikoura earthquakes
(transport provided to/from Blenheim)

Tuesday 14th: Meeting presentations (oral & posters) in Ward, including a community engagement event to mark the 1-year anniversary of the Kaikoura earthquake
(transport provided to/from Blenheim)

Wednesday 15th & Thursday 16th: Meeting presentations (oral & posters) in the Marlborough Centre, Blenheim.

Post-meeting field trip:

Friday 17th - Sunday 19th November: Post-meeting field trip
(field trip will start in Blenheim and finish in Christchurch).

The schedule for this is yet to be arranged but will encompass parts of the northern Alpine Fault and some of the southern fault ruptures of the 2016 Kaikoura earthquake. The field trip will end in Christchurch late on the 19th November. Post-meeting field trip participants are advised to arrange travel to leave Christchurch International Airport on the 20th November, 2017.

◆国際集会 (GEODUST) の開催案内

TERPRO の IFG の一つである GEODUST の会合が下記の通り、開催されます。
ご関心がある方にはサーキュラーをお送りしますので、吾妻 (t-azuma(at)aist.go.jp) 宛にご連絡下さい。もしくは主催者の Frank Eckardt 氏 (frank.eckardt(at)uct.ac.za) に直接連絡をお取り下さい。

GEODUST 2017

GEOMORPHOLOGY OF DUST SOURCES AND DYNAMICS OF DUST EMISSION
FROM DIFFERENT GEOMORPHIC UNITS

Second meeting of the GEODUST International Focus Group of the INQUA TERPRO Commission
(Gobabeb, Namibia October 18–23, 2017)

Preliminary Program

- 18th of October - Arrive around lunchtime Walvis Bay from Windhoek and South Africa
- 19th of October (Night 1) - 1st talks and tour of station and field visits
- 20th of October (Night 2) - 2nd talks and tour of station and field visits
- 21st of October (Night 3) - Daytrip to coastal town Swakopmund with additional field visits
- 22nd of October (Night 4) - Field visits and workshop wrap up
- 23rd of October (Night 5) - Breakfast and Depart to Walvis Bay airport

Organizing and scientific committee

- Frank Eckardt (University of Cape Town)
- Onn Crouvi (Geological Survey of Israel)
- Andrea Zerboni (Università degli Studi di Milano)
- Kerstin Schepanski (Leibniz Institute for Tropospheric Research)
- Matthew Baddock (University of Loughborough)

◆日本第四紀学会 2016 年度第 6 回組織改革委員会議事録

日時：2017 年 4 月 1 日 (土) 10:00 ~ 16:06
会場：明治大学駿河台キャンパス Global Front 7 階 C4 会議室
出席：小野、斎藤、吾妻、北村、小荒井、須貝、百原、水野
欠席：奥村
1. 「庶務委員会内規」(案) および「会計委員会内規」(案) の修正箇所を確認した。またこれらの内規と

関連して、学会事務局との契約に関する内規の新規設置について検討することとした。
2. 「顕彰規程」(案) およびそれに関連する各賞の選考に関する内規の改訂および新規設置について検討した。
3. 次回会合を 2017 年 4 月 23 日 (土) に開催することとした。

◆日本第四紀学会 2016 年度第 7 回組織改革委員会議事録

日時：2017 年 4 月 23 日 (日) 10:00 ~ 16:03
会場：明治大学駿河台キャンパス Global Front 7 階 C4 会議室
出席：小野、斎藤、吾妻、北村、須貝、水野、百原
欠席：奥村、小荒井
1. 「顕彰規程」(案) ならびにそれに関連する各賞の選考に関する内規の修正箇所について確認を行った。

2. 「大会運営委員会規程」(案) について検討を行った。
3. 「編集委員会規程」(改訂案) および「編集委員会内規」(案) について検討を行った。
4. 「学会事務局への業務委託に関する内規」(案) について検討を行った。
5. 次回会合を 2017 年 6 月 3 日 (土) に開催することとした。

◆臨時評議員会開催報告

役員選挙規程の第8条を改正するため、2月22日に電磁的方法による臨時の評議員会を開催した。組織改革委員会からの指摘に基づき、会長より、下記のとおり役員選挙規程の一部改正が発議された。

(原文)

第8条 選挙管理委員は、会長・副会長・評議員の候補者になれない。

(修正案)

第8条 選挙管理委員は、会長・副会長・評議員の被選挙権を有さない。

改正の主旨は、評議員選挙については立候補／推薦による候補者にならなくても全ての正会員に被選挙権が与えられてしまう（被選挙人名簿に掲載される）が、選挙管理委員はそこから除外するという事を明確にするためである。審議期間は本日より1週間（3月1日まで）とし、会則第14条7項にもとづき評議員数の過半数の賛同が得られた時点で承認とし、第四紀学会事務局メールアドレスへの返信を求めた。その結果、修正案への賛同投票数が2月24日の時点で評議員数（総数39）の過半数に達したことを会長が確認し、修正案の承認が議決された。

◆日本第四紀学会 2016 年度第 5 回幹事会議事録

日時：2017年3月13日（月）13:00～17:00

会場：明治大学駿河台キャンパス Global Front 7階 C4 会議室

出席：小野（会長）、奥村、斎藤文紀（以上、副会長）、吾妻（幹事長）、須貝（渉外）、米田（企画）、百原（庶務、議事録）、伊津野（事務局）、水野（組織改革委員会委員）

欠席：藤原、卜部（以上、編集）、小荒井（渉外）、兵頭（顕彰）、植木（会計）、齋藤めぐみ（広報）、小森（行事）

＜報告事項＞

幹事長：広報委員に依頼し、学会ホームページに選挙関係の資料を掲載するための会員限定ページを開設した。

庶務：1. 第1回選挙管理委員会を開催した（2月19日）。役員選挙規程と会則、選挙日程、会告と投票用紙等の確認を行った。2. 役員選挙規程第8条修正のため、臨時評議員会を開催した（2月22日）。3. 学会等共催依頼についてML審議を行った。第61回粘土科学討論会を共催することとした。4. 臨時評議員会での結果を踏まえて、学会ホームページに掲載されている「役員選挙規程」を更新した。5. 2016年度会員名簿を作成し、選挙会告と併せて、会員に送付した。

広報：1. 通信4月号の原稿を催促し、編集を依頼した。2. 第四紀学会ML配信依頼への対応についてML審議を行った。3. 1件のお知らせを第四紀学会MLに配信した。

編集：1. 『第四紀研究』への広告掲載について問合せがあり、幹事会での審議を依頼した。2. 第四紀研究6月号ジオパーク特集号の編集経過を確認

した。3. 第四紀研究8月号以降に予定されている2016年大会セッションの領域特集および、「ジオパークと土壌学」シンポジウム特集号の編集経過を確認した。

企画・行事：1. 2017年大会の準備を進め、『第四紀通信』4月号（vo.24,no.2）に掲載する開催案内（第4報）を作成した。2. 2016年受賞者講演会について、受賞者と日程を調整した結果、2017年6月17日（土）に開催することとした。『第四紀通信』4月号（vo.24,no.2）に掲載する開催案内を作成した。

渉外：1. JpGU-AGU Joint Meeting 2017の提案セッションについてプログラムを作成した。その内容を『第四紀通信』4月号（vo.24,no.2）に掲載する原稿を作成した。2. JpGU-AGU開催期間中の5月25日の午後に会議室を借りて各領域の人が集まって議論する場を設けることとした。

＜審議事項＞

1. 規程・内規の一部改訂案および新規提案の検討を行った。
2. 編集委員会から依頼があった会誌への広告掲載の可否について、審議を行った。
3. 2017年大会について、セッションごとに他学会との共催とすること等、開催準備・運営方針について検討を行った。
4. 2016年度受賞者講演会の開催準備・運営方針について検討を行った。
5. ジオパーク関連シンポジウムについて、検討し、領域5の活動として進めることを確認した。
6. 第3回アジア第四紀研究会議（9月、韓国・済州島）への学会としての対応について検討を行った。

◆学生会員の皆さまへ「学生会員継続届け」提出のお願い

日本第四紀学会では、学生会員は、毎年在籍中であることを「学生会員継続届け」として提出して頂くことになっています。

2017年度（2017年8月1日～2018年7月31日）を学生会員として継続希望される方は、A4判の用紙（様式自由・ワープロ使用）に、申請者の所属・学年・氏名・連絡先・指導教官氏名を明記のうえ、指導教官の署名または捺印を添えてお送りいただくか、有効期限が明記された学生証のコピーを2017年7月31日（月）までに日本第四紀学会事務局まで郵送して下さい。本届が提出されない場合は、2017年度第1回目会費請求時に、正会員会費にて会費請求がされますので、ご注意下さい。

なお、2017年度から学生会員として入会された方も提出願います。

また、日本学術振興会特別研究員（PD）や科学技術特別研究員などは通常会員となります。

問合先・送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号

新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会事務局

E-mail：daiyonki(at)shunkosha.com

TEL：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176

提出方法：郵便に限ります。

◆日本第四紀学会 2016 年 学会賞・学術賞受賞者講演会のお知らせ（再掲）

期日：2017 年 6 月 17 日（土）13:30～16:05（参加費無料、申し込み不要）

会場：東京大学本郷キャンパス 理学部二号館 講堂

（会場詳細は http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_02_j.html をご参照ください）

13:00～ 受付開始

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:20 学会賞受賞講演：辻 誠一郎 会員

「第四紀植生史研究と歴史景観生態学」

（受賞件名：花粉分析を中心とした後期更新世以降の植生史および人と自然の関係史の研究）

14:20～15:05 学術賞受賞講演：林 成多 会員

「日本列島における第四紀の昆虫相変遷の解明」

（受賞件名：形態学的・分子系統学的・生態学的検討に基づく日本列島の第四紀昆虫相変遷の研究）

15:05～15:20 休憩

15:20～16:05 学術賞受賞講演：水野清秀 会員

「鮮新-更新世堆積盆地の形成史研究と広域テフラの役割」

（受賞件名：鮮新-更新世の地質層序・テフラ・古地理に関する研究）

16:05 閉会

なお、講演会前（9:30～12:30、第二講義室）に評議員会の開催を予定しています。

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報幹事：齋藤めぐみ（memekato@kahaku.go.jp）宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報の速報性ということから、版下が完成した段階でホームページに掲載するよう努力しています。

奇数月 15 日頃にはホームページにアップするようにしていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 国立科学博物館 地学研究部 齋藤めぐみ

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 FAX：029-853-8998

広報委員：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子 編集書記：岩本容子

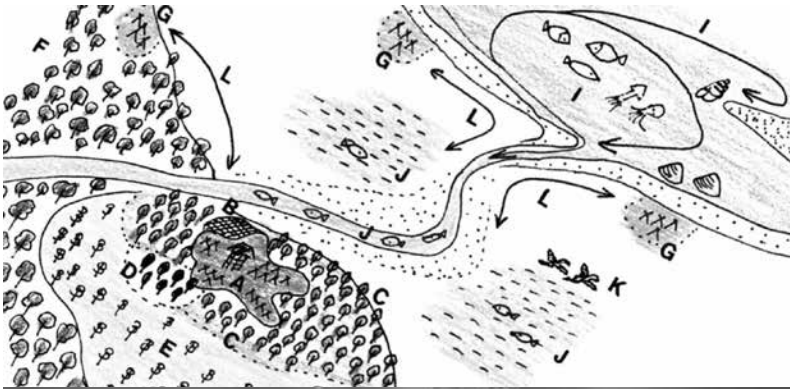
日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイルを閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 10 階

株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail：daiyonki@shunkosha.com 電話：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176



日本第四紀学会2016年 学会賞・学術賞 受賞者講演会



ACCESS MAP

期日：2017年6月17日(土) 13:30 - 16:05 (参加費無料、申し込み不要)

会場：東京大学 本郷キャンパス 理学部二号館 講堂

- 13:00 - 受付開始
- 13:30 - 13:35 開会挨拶
- 13:35 - 14:20 学会賞受賞講演：辻 誠一郎 会員 「第四紀植生史研究と歴史景観生態学」
(受賞件名：花粉分析を中心とした後期更新世以降の植生史および人と自然の関係史の研究)
- 14:20 - 15:05 学術賞受賞講演：林 成多 会員 「日本列島における第四紀の昆虫相変遷の解明」
(受賞件名：形態学的・分子系統学的・生態学的検討に基づく日本列島の第四紀昆虫相変遷の研究)
- 15:05 - 15:20 休憩
- 15:20 - 16:05 学術賞受賞講演：水野 清秀 会員 「鮮新-更新世堆積盆地の形成史研究と広域テフラの役割」
(受賞件名：鮮新-更新世の地質層序・テフラ・古地理に関する研究)
- 16:05 閉会



日本第四紀学会
Japan Association for Quaternary Research

講演会前 (9:30~12:30) に評議員会の開催を予定しています
会場詳細は http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_02_j.html をご参照ください